

私のお茶の水女子大学での最終学期

シドニー工科大学
アノワー イライザ

お茶の水大学での最後の学期は本当に特別でした。私は日本語の授業で新しいことを学び、新しい友達を作り、いろいろな場所を探索することにいつも楽しみました。

大学での第二学期は前学期よりも落ち着いた気持ちで自信をもって取り組むことが出来ました。夏の強烈な暑さと湿度への対処は挑戦でしたが、それも乗り越えることが出来ました。新しい科目に取り組むことで新しい友達を作ることができ、異なるクラスでは自分の限界に挑戦することが出来ました。友達、先輩、音羽館のスタッフ、そしてお茶の水大学のスタッフの方々のサポートにとっても感謝しています。彼らは皆、この学期を私にとって充実したものにするために重要な役割を果たしてくれました。

前学期と比べて、授業に出席することはそれほど緊張しませんでした。理解、作文、文化、会話、そして私にとって初めてのファシリテーションクラスを含む多様な日本語の授業を受講しました。これらの授業はただ魅力的だけでなく、楽しくもあり、日本語のスキル向上にも繋がりました。特にファシリテーションクラスは新しい経験であり、クラスメートとの深い繋がりを築く場を与えてくれました。2つのクラスを受講できたことでたわら先生に感謝しています。彼女の熱意と伝染力のある笑顔は楽しみの一環でした。また、日本文化の理解を広げるために手助けしてくださったひらの先生にも感謝しています。総じて、私の第二学期は自信に満ち、豊かな学業経験となりました。



「お茶フローズジャズクラブ」の一員として、私は「スプリングライブ」と呼ばれるダンスコンサートに出演しました。ダンサー全員が年の初めからリハーサル非常に一生懸命努力し、このショーの準備を整えました。また「2021期生」として知られる先輩方のダンサーたちのリーダーシップは素晴らしく、彼女らはリハーサルの段取りを驚くほど整え、私たちが最善を尽せるよう励ましてくれました。ショー

はとても楽しく、ダンス仲間たちと一緒にステージに立つことができ、楽しい経験になりました。ショーにはジャズ、ヒップホップ、コンテンポラリー、ガールズスタイル、K-pop、ストリートなど、さまざまなダンススタイルがありました。

今年のクリスマスと新年は特に特別でした。家族と一緒に過ごすことができ、京都や金沢に旅行し、新鮮な刺身や美味しいとんかつを楽しみました。私は寒い季節が好きで、リゾート地でスキーも楽しみました。スキーの後は温泉でリラックスしました。旅行中



にいくつかの地震を感じましたが、家族と一緒にだったので安全でした。元旦には神社を訪れ、非常に幸運なおみくじを引くと、2024年は私にとって良い年になると書かれていました。また、カラフルで美味しい「おせち料理」も食べることができました。家族と一緒に国内を旅行することは素晴らしい経験であり、お正月もいつもとは違う形で過ごすことができ、嬉しかったです。

最後に、お茶の水大学のコミュニティの皆さまに感謝の意を表したいと思います。私を歓迎してくれた指導教員である戸谷先生に感謝申し上げます。貴重な情報と指導を提供してくれた萩原先生にも感謝申し上げます。国際交流課、音羽館スタッフ、お茶の水大学の警備員の方々にはいつも安全を守っていただき、心から感謝しています。お茶の水大学での交換留学の経験は、私にとって非常に特別な思い出になりました。